

New Year's Resolution 2024・新年の抱負(このフォーマットでまとめる予定です。)

(氏名)	抱負・決意・思いの内容
あいうえお順で掲載の予定	<p>概ね400字程度、下の紺藤の文章は387字です。 書体はMSPゴシックの予定ですが、ご指定があれば従います。 送っていただくデータはWwordでもEexcelでも、メール本文でも構いません。 図や写真があってもいいです。</p> <p>内容は活動の近況、仕事の事、趣味の事、課題にしていること、旅行のことなどなんでも。</p> <p>データはJIPAK事務局あて info@kipa.or.jp 早いのはいつでも、遅くても令和6年1月15日まで</p>
紺藤建夫	<p>今年の2月で81歳になります。人生100年の時代とは言え、いつまで生かされているかわかりません。先日は風邪と思っていたら、新型コロナだったと診断されました。地域でボランティア活動していた友人が急逝したり、同級生や会社の元同僚の訃報が増えたりして、知っている人が次第にいなくなり、残りの寿命のことを考え、断捨離せねばと思うと憂鬱になってしまいます。不機嫌な年寄りの心境が今だからこそわかるように思います。私の住んでいる京田辺市の薪(たきぎ)というところに一休さん(一休宗純)が再興した酬恩庵(一休寺)があります。一休禅師は81歳の時に京都の大徳寺の住職としてここから通ったと言います。一休禅師が残した言葉に「正月は冥土の旅の一里塚めでたくもありめでたくもなし」があります。88歳で亡くなる時の辞世の言葉が「死にとうない。」だったと、言います。最期まで執着心との葛藤が残ります。</p>